

# 専念寺通信

## 専念寺通信

三月号 (NO. 91)

2月には三回、雪が降り、寒い日が多く続きました。三寒四温を繰り返し、春が近づいています。みなさま、お変わりありませんか？今号は、専念寺墓地の寒椿と、雪にしなう中庭の笹の写真を掲載させていただきます。

### ☆ 春の彼岸・六波羅蜜

3月17日から23日までが春のお彼岸です。昼の長さとお中日をはさんでの1週間です。「到彼岸」を意味するパラミターというサンスクリット語がそのまま音訳され「波羅蜜」という語になりました。意味は、彼岸に到ること、完成すること、理想を達成すること、です。お彼岸の時期は、真西に沈む太陽を感じながらその果てにある彼岸に想いを致し、この六波羅蜜と呼ばれる徳目を思い起こし、みずからの生きる姿勢をととのえるという、仏道の実践期間としてとらえることもできます。

六波羅蜜とは、次の六つの徳目です。

- 1) **布施**：ふせ：与えること。財施（ものを施す）・法施（真理を施す）  
無畏施（恐怖をとりのぞき安心を施す）の三種の布施。
- 2) **持戒**：じかい：戒律を守ること。
- 3) **忍辱**：にんにく：苦難に耐え忍ぶこと。
- 4) **精進**：しょうじん：真実の道をたゆまず実践すること。
- 5) **禅定**：ぜんじょう：精神を統一して安定させること。
- 6) **智慧**：ちえ：真実の智慧を得ること。

お彼岸の1週間のあいだ、この中のひとつでも、試みてみましょう。

さて、先日、朝日新聞に載っていた全国の中学・高校生の作った短歌を紙面の許すかぎりご紹介させて頂きたい思います。

東洋大学が募集した「現代学生百人一首」に寄せられた6万首の中から。

〈ほうれん草のおひたし最近水っぽい 握力落ちた母の細腕〉  
〈仲間との蕎麦打ち語る父の顔 白髪あたまの少年がいる〉  
〈おじいちゃんみんなの話題と違うけど 私はちゃんと聞いているよ〉  
〈おばあちゃんさつきも言ったよその話 忍び寄る影そっと肩抱く〉  
〈大好きな君に会えるの期待して 今朝もいつもの各駅停車〉  
〈初めての機械実習 緊張の 心の角を切り飛ばしてる〉  
〈受験費用心配しなくて良いからと 父のメールに涙こらえる〉

「最近の若いものは・・・」という言葉をよく耳にし、口にもしますが、数百年前から、数千年前から「昨今の若いもんは・・・」と言い古されていたという記録もあります。「若い者」をひとくりにせず、大人の私たちのほうもやわらかい頭を持てれば、互いの中にある「宝」を発見しあえるかもしれません。

**☆ちいさなお知らせ**：庫裏の廊下突き当たり置いてありました、ユニセフの募金箱と国境なき医師団の募金箱を、郵便局に持って行きました。結果、ユニセフはなんと45095円！そして医師団へも14792円の額を寄付することができました。領収証を募金箱の横に張っておきます。皆さまの暖かいお心がきつと役にたつと信じています。本当にありがとうございました。季節の変わり目、みなさまどうぞお身体、大事におすごしください。

お彼岸で皆さまにお目にかかれまのすのを、心より楽しみに致しております。

平成20年3月1日

大黒

